

事業別経営計画書【B】

■基礎情報

所属名	地域協働部 環境課	No.	1
事業名	環境保全対策事業		
総合計画の 体系	大分類	2	未来へ引き継ぐ環境保全とまちの活力を創造する
	小分類	3	自然と共生した地域社会づくり・良好な生活環境の確保
目的	町内環境の維持、向上を図るため水質・大気をはじめとした環境衛生の向上を図る。		
事務内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 狂犬病予防業務 ・ 公害対策業務 ・ 環境保全・対策関係補助金交付業務 ・ 愛北広域事務組合（火葬場）関係業務 		
現在における 経過又は課題	<p>遊休地などの雑草問題については、広報等を通じて啓発を行っているが、減少をしていない。</p> <p>悪臭規制の方法が、平成25年4月から物質濃度規制から臭気濃度規制へと変更となる。</p> <p>太陽光発電補助金については、240kwの補助を毎年実施してきているが、町とは別に交付されている国の交付金が廃止される予定があり、補助制度の見直しが必要となることが考えられる。</p>		
平成25年度の 目標又は 改善策	<p>雑草の問題については、引き続き丹羽消防署と連携をする中で、指導を行うとともに広報を継続していく。</p> <p>悪臭の問題については、規制方法の変更によりこれまでに問題にならなかった業種が問題になることも考えられることから、事業者への周知を行っていく。また、環境保全に関する協定締結事業者には、臭気測定を自主的に行っていただくよう働きかけていく。</p>		

■作業工程（当該年度）

月	作業内容
4	狂犬病予防注射（集合注射）各地区集会場など
5	町内ごみゼロ運動
6	町内水質調査（通水期）
7	五条川自然塾
7	町内地下水調査（通水期）
8	町内大気測定
12	町内水質調査（湧水期）
2	町内大気測定
2	町内地下水調査（湧水期）
3	五条川・合瀬川・矢戸川クリーンアップ活動
通年	公害等の苦情処理
年	狂犬病予防事務（犬の登録・注射済み証交付）

□3年間の目標

目標	・ ・						
	項目（単位）	H23 計画	H23 実績	H24 計画	H25 目標	H26 目標	H27 目標

□2年後、3年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
H26 年度	・ ・
H27 年度	・ ・

■事業コスト

		単位	H23 年度決算額	H24 年度当初予算額	H25 年度計画額
事業費		千円	27,755	27,436	28,001
(内特定財源)		千円	2,636	2,944	2,971
人工	職員	人工	1.2	1.2	1.2
	臨時職員	人工		0.3	0.3
	計	人工	1.2	1.5	1.5

■平成 25 年度計画特定財源内訳

(単位:千円)

特定財源名称	金額	備考(充当先等)
犬登録管理手数料	1,074	4-1-4(03)
合併処理浄化槽補助金(国)	137	4-1-4(03)
住宅用太陽光発電設置費補助金	840	4-1-4(03)
合併処理浄化槽補助金(県)	82	4-1-4(03)
ふるさとづくり基金繰入金	790	4-1-4(03)
太陽光発電電力売払収入	48	4-1-4(03)
合計	2,971	

■平成 25 年度計画額の主な増減

(新たな取組、臨時経費、廃止項目等)

(単位:千円)

種別	項目(科目等)	計画額	増減額	内容
03	悪臭調査委託料	158	158	臭気指数規制導入に係る調査

■特記事項

--

■目標又は改善策に対する取組内容

- 雑草繁茂等による苦情については、即時対応を心掛け、現場確認と土地所有者への指導を遂行してきた。難しい案件も存するが、解決策を見出し、取り組んできた。
- 悪臭規制方法の変更に伴う事業者への周知等については、文書にてお知らせを促した。なお、臭気測定を要するような案件はなかった。

■評価

- 雑草繁茂等の苦情に対する対応は、速やかな現場確認と土地所有者等との話し合い、さらには通知文書により積極的な対応ができたものと考察する。しかし、中には指導や通知等に応じない土地所有者もいるので、これらの対応策が今後の課題であると認識しており、今後は再度の通知文送付、電話連絡等により対処していく。
- 悪臭規制法の変更に係る事項については、大きな問題もなかったが、今後に向けても適宜、周知していく必要性はあると考えており、さらに悪臭規制法の遵守を図るべく広報等により継続した周知を実施していく。

事業別経営計画書【B】

■基礎情報

所属名	地域協働部 環境課	No.	2
事業名	廃棄物処分事業		
総合計画の 体系	大分類	2	未来へ引き継ぐ環境保全とまちの活力を創造する
	小分類	1	持続可能な循環型社会の創造
目的	廃棄物を適正処理することにより、町内環境の向上を図る。		
事務内容	<ul style="list-style-type: none">・ 不法投棄防止業務・ 可燃ごみ処理委託業務・ 埋立てごみ処理委託業務・ 新ごみ処理施設建設関係業務・ 江南丹羽環境管理組合関係業務		
現在における 経過又は課題	適正な管理ができていない場所への不法投棄が多くなってきている。また、テレビの地上デジタル化以降家電製品の不法投棄が増加傾向にある。		
平成 25 年度 の目標又は 改善策	不法投棄が続く場所には、不法投棄防止看板を設置するとともに、不法投棄されにくい環境を作るため、周辺の清掃などを土地所有者にお願いしていく。 また、不法投棄を現場において投棄者が特定されるようなものがないか確認をし、投棄者が特定できた場合、廃棄物処理法に基づき警察に告発をしていく。		

■作業工程（当該年度）

月	作業内容
4 通 年	可燃ごみ収集業務、埋立てごみ収集、運搬及び処理業務委託契約事務 新ごみ処理施設建設関係業務（ブロック会議、幹事会など） 不法投棄防止業務

□3年間の目標

目標	・ ・					
項目（単位）	H23 計画	H23 実績	H24 計画	H25 目標	H26 目標	H27 目標

□2年後、3年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
H26 年度	・ ・
H27 年度	・ ・

■事業コスト

		単位	H23 年度決算額	H24 年度当初予算額	H25 年度計画額
事業費		千円	216,207	167,853	207,098
(内特定財源)		千円	19,442	18,809	18,879
人工	職員	人工	2.5	2.0	2.0
	臨時職員	人工		0.7	0.7
	計	人工	2.5	2.7	2.7

■平成 25 年度計画特定財源内訳

(単位：千円)

特定財源名称	金額	備考(充当先等)
一般廃棄物処理業許可手数料	175	4-2-1(03)
可燃ごみ収集手数料	9,200	4-2-1(03)
江南丹羽環境管理組合負担金	4,854	4-2-1(03)
可燃ごみ収集袋売払収入	4,650	4-2-1(03)
合計	18,879	

■平成 25 年度計画額の主な増減

(新たな取組、臨時経費、廃止項目等)

(単位：千円)

種別	項目(科目等)	計画額	増減額	内容

■特記事項

--

■目標又は改善策に対する取組内容

- 不法投棄が続くような場所には、不法投棄防止看板を設置するなどし、地区の方々からの要望にも応えながら、不法投棄がなされない環境づくりに努めてきた。
また、不法投棄により投棄者が特定できた事案もあり、警察と連携する中で、速やかな対応を心掛けてきた。

■評価

- 不法投棄については、後を絶たない状態であるが、根気強く、その対応にあたっている。投棄が頻繁にあるような場所には、不法投棄防止看板及び警告看板を複数枚、貼付するなどし、その後は以前のような不法投棄による苦情は減少した。よって、投棄の場所や内容による対応が必要であるとする。また、年度末には休日に不法投棄を発見された地区の方が警察及び役場に通報し、その後、速やかな対応により、投棄者を特定し、翌日には検挙できた事例があった。休日であったが、それぞれが速やかに対応した結果が、投棄者の特定につながったものと思うので、今後もでき得る限り、迅速な対応に心掛けていきたい。

事業別経営計画書【A】

■基礎情報

所属名	地域協働部 環境課	No.	3
事業名	ごみ減量・資源化事業		
総合計画の 体系	大分類	2	未来へ引き継ぐ環境保全とまちの活力を創造する
	小分類	1	持続可能な循環型社会の創造
目的	資源の分別を徹底することにより、循環型社会の構築を図る。 焼却ごみの減量		
事務内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ごみ減量・資源化施策の企画・立案 ・資源リサイクルセンターの管理、運営 ・有機資源保管場所の管理、運営 ・生ごみ堆肥化事業 		
現在における 経過又は課題	<p>平成24年度、すべての行政区において焼却ごみ減量意見交換会を実施した。意見交換会では、「もっと具体的にわかりやすい手法でごみ減量を訴える必要がある」など、様々な意見が寄せられた。</p> <p>また、平成23年度町内の大型スーパーが出店したこと等により、事業系のごみについて増加傾向がある。</p>		
平成25年度 の目標又は 改善策	<p>ごみ減量のわかりやすいPRとして、1袋のごみを処理するのに必要な経費や、雑がみ等はごみ袋へ入れないような啓発を、可燃ごみ収集袋へ印刷することにより取り組む。</p> <p>また、若い世代への分別講習会の開催を、子ども会役員や保育園保護者を対象に開催していく。</p> <p>一方、事業系のごみについては、食品残渣の地域外での堆肥化を推進することにより、減量を図っていく。</p>		

■作業工程（当該年度）

月	作業内容
4	廃棄物減量等推進員分別説明会開催 大規模小売店舗からごみ減量計画書提出 必要に応じヒヤリングの実施 平成25年度一般廃棄物処理計画の告示 資源物等収集委託契約の締結 各月廃棄物収集量の把握 区長会で「ごみ減量出前講座」の案内
5	地区単位でのごみ組成調査（雑がみ・剪定枝・草・厨芥類を中心に）5月・7月・1月実施 子ども会役員、保育園保護者等若い世代へのごみ減量意見交換会開催働きかけ
6	意見交換会・出前講座の開催
9	子ども会役員、保育園保護者、出前講座で寄せられた意見の集約
1	平成26年度一般廃棄物処理実施計画の策定
3	平成26年度各種委託契約の準備

□3年間の目標

目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ごみ減量出前講座の年間12回開催 ・雑がみ・剪定枝・草の分別徹底 					
項目（単位）	H23 計画	H23 実績	H24 計画	H25 目標	H26 目標	H27 目標
ごみ減量出前講座（回）	1	1	12	12	12	12
雑がみなど分別徹底（回）				12	12	12

□2年後、3年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
H26 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭系ごみ袋の中から、雑がみを抜き出すことの徹底 ・
H27 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭系ごみ袋の中から、剪定枝・草を抜き出すことの徹底 ・

■事業コスト

		単位	H23 年度決算額	H24 年度当初予算額	H25 年度計画額
事業費		千円	87,199	79,791	81,691
(内特定財源)		千円	18,960	8,700	8,268
人工	職員	人工	2.0	1.5	1.5
	臨時職員	人工	3.0	3.0	3.0
	計	人工	5.0	4.5	4.5

■平成 25 年度計画特定財源内訳

(単位:千円)

特定財源名称	金額	備考(充当先等)
行政財産目的外使用料	6	4-2-2(03)
粗大ごみ処理手数料	1,500	4-2-2(03)
環境事業指定寄附金	150	4-2-2(03)
資源ごみ売払収入	6,612	4-2-2(03)
合計	8,268	

■平成 25 年度計画額の主な増減

(新たな取組、臨時経費、廃止項目等)

(単位:千円)

種別	項目(科目等)	計画額	増減額	内容
03	リサイクルセンター駐車場改修工事	1,922	1,922	リサイクルセンター利用者の安全確保のため駐車場入口・出口の改修

■特記事項

--

■目標又は改善策に対する取組内容

- 可燃ごみ収集袋への啓発文言の印刷は遂行できた。
- 若い世代への分別講習会等については、子育てグループに対し、出前講座及びアンケート調査を実施し、さらには町内4保育園の保護者向けには、子どもと一緒に取り組める資源ごみ分別のチラシを作成し、啓発を行った。
- 事業系のごみ減量に向け、商工会を通じ町内事業所に資源ごみ分別啓発チラシを配布した。
- 資源ごみ分別啓発DVDを作成した。
- 広報紙では「環境情報」の特集を組むなどし、PRや周知に努めた。

■評価

- 可燃ごみ収集袋への啓発文言を入れた印刷はできたが、それがごみ減量の意識高揚につながる効果をもたらしているかまでは把握できていない。今後は、アンケート調査等により状況把握していく。また、若い世代への分別講習会等は、一つの団体に向けての出前講座に留まったが、一定の効果はあったものと考察する。さらに、保育園保護者に向けた啓発チラシは、子どもと一緒に資源ごみの分別に取り組める内容のチラシができ、今までにないPRができたものと考察する。

事業別経営計画書【B】

■基礎情報

所属名	地域協働部 環境課	No.	4
事業名	し尿処理事業		
総合計画の 体系	大分類	2	未来へ引き継ぐ環境保全とまちの活力を創造する
	小分類	1	持続可能な循環型社会の創造
目的	浄化槽等の適切な維持管理を啓発することにより、町内環境の向上を図る。		
事務内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ し尿汲み取り助成金事業 ・ し尿汲み取り委託業務 ・ 愛北広域事務組合関係業務 ・ 浄化槽清掃業許可業務 		
現在における 経過又は課題	浄化槽の管理が適切に行われていないことを原因とする悪臭の発生		
平成 25 年度 の目標又は 改善策	浄化槽の適切な維持管理についての啓発を 10 月 1 日の浄化槽の日を中心に実施する。		

■作業工程（当該年度）

月	作業内容
10	広報おおぐちに浄化槽の適切な維持管理に関する記事の掲載 9月24日から10月1日までの環境衛生週間の期間中、広報無線で浄化槽の適切な維持管理を呼びかける
通年	し尿汲取助成金の交付関係事務 愛北クリーンセンター搬入計画の策定

□3年間の目標

目標	・ ・					
項目（単位）	H23 計画	H23 実績	H24 計画	H25 目標	H26 目標	H27 目標

□2年後、3年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
H26 年度	・ ・
H27 年度	・ ・

■事業コスト

		単位	H23 年度決算額	H24 年度当初予算額	H25 年度計画額
事業費		千円	35,408	34,623	27,698
(内特定財源)		千円	0	0	0
人工	職員	人工	0.6	0.6	0.6
	臨時職員	人工	0	0	0
	計	人工	0.6	0.6	0.6

■平成 25 年度計画特定財源内訳

(単位:千円)

特定財源名称	金額	備考(充当先等)
合計		

■平成 25 年度計画額の主な増減

(新たな取組、臨時経費、廃止項目等)

(単位:千円)

種別	項目(科目等)	計画額	増減額	内容

■特記事項

--

■ 目標又は改善策に対する取組内容

浄化槽の適切な維持管理を周知するため、町のカレンダーや広報おおぐち10月号等に記事を掲載し、浄化槽の適切な維持管理が行われるよう努めた。

■ 評価

特に苦情もなく、浄化槽の適切な維持管理が行われたものと思われる。

事業別経営計画書【B】

■基礎情報

所属名	地域協働部 環境課	No.	5
事業名	環境共生事業		
総合計画の 体系	大分類	2	未来へ引き継ぐ環境保全とまちの活力を創造する
	小分類	3	自然と共生した地域社会づくり・良好な生活環境の確保
目的	春夏秋冬、五条川のせせらぎが心を潤してくれる。ふれあいの遊歩道となるよう尾北自然歩道の管理を実施するとともに、五条川堤の桜の保全を図る。		
事務内容	<ul style="list-style-type: none">・ふれあい池の管理・運営委託・五条川堤桜の維持・管理・尾北自然歩道の維持・管理・桜まつり関係業務		
現在における 経過又は課題	五条川堤の桜も老朽化してきており、延命を含めた処置が課題となっている。平成24年度「桜勉強会」を立ち上げ、桜保全に関する組織の立ち上げを目指して活動している。		
平成25年度の 目標又は 改善策	桜勉強会に参加した方を中心に立ち上げる、桜保存に関する会を組織化し、多くの方が五条川桜の保存に関わることができる体制を構築する。		

■作業工程（当該年度）

月	作業内容
4	桜まつりの開催
5	桜の消毒
8	桜の消毒
通年	桜枯れ枝伐採 尾北自然歩道管理 ふれあい池管理 （仮）桜保存活動の会業務

□3年間の目標

目標	・ ・					
項目（単位）	H23 計画	H23 実績	H24 計画	H25 目標	H26 目標	H27 目標

□2年後、3年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
H26 年度	・ ・
H27 年度	・ ・

■事業コスト

		単位	H23 年度決算額	H24 年度当初予算額	H25 年度計画額
事業費		千円	16,705	21,625	20,956
(内特定財源)		千円	1,050	2,045	1,800
人工	職員	人工	0.7	0.7	0.7
	臨時職員	人工	0	0	0
	計	人工	0.7	0.7	0.7

■平成 25 年度計画特定財源内訳

(単位:千円)

特定財源名称	金額	備考(充当先等)
ふるさとづくり基金繰入金	1,800	7-1-2(03)
合計	1,800	

■平成 25 年度計画額の主な増減

(新たな取組、臨時経費、廃止項目等)

(単位:千円)

種別	項目(科目等)	計画額	増減額	内容

■特記事項

--

■目標又は改善策に対する取組内容

- 協働委託をしているNPO登録団体の働き掛けにより、五条川堤の草刈りを行っていただいている地元有志の皆さんとNPO登録団体、行政とが年2回（7月と2月期）、協働で桜の枯枝の剪定作業を実施した。
- 今年度において、桜保存に関する組織の立ち上げを目標にしたが、関係者や関係団体、行政が同一作業を通して緩やかに繋がり合う活動を行った。

■評価

- 桜保存に関する組織化には至っていないが、今年度は、桜の枯枝の剪定作業等において、これまで以上に多くの地元有志に関わっていただいた。
また、桜の保存に関しても住民の関心が高まってきていることから、行政としても町の花である「さくら」の保存や長寿命化に向けて出来得る支援を講ずるとともに桜保存への関心者を増やしていきたい。